

事業結果要約報告書

受付番号

2020 KJ-002

－科学技術振興関係－

公益財団法人 **マツダ財団** 御中

令和3年 6月 10日

所属機関名 山口大学教育学部附属光小学校

申請代表者 赤星 冨

役 職 教諭

フリガナ アカホシ サエ

氏 名 赤星 冨

マツダ財団から受けた 助成金 150 千円 による事業結果について、
次のとおり報告します。

助成事業名

小中学校発 海の魅力、再発見！ 遊んで、触れて、食べてみて！ 海洋教育の発展
を願った「親子うみ教室」の開催

(事業期間： 令和2年 7月 21日～ 令和3年 3月 31日)

計 画

実 施 結 果

事業
内
容

日時 第一回 2020年7月25日(土)
第二回 2020年8月 8日(土)
第三回 2020年9月19日(土)
場所 山口大学教育学部附属光小・中学校
フィッシングパーク光
対象 小中学生及び保護者
定員 各回約50名
内容 体験活動を通して海の豊かな自然やその素晴らしさを感じてもらい、回数を経るごとに、身近な海の海洋環境問題について親子で考えることができる活動を仕組む。

日時 第一回 2020年 8月29日(土)
第二回 2020年 9月19日(土)
第三回 2020年10月17日(土)
場所 山口大学教育学部附属光小・中学校
対象 小中学生及び保護者
参加者(人) 各回約50人内訳(児童生徒：約20人)
(保護者：約20人)(小中教員及びおやじの会：約10人)
内容 第一回「御手洗湾を大搜索!漁師さんから学ぶ室積の海!」
第二回「綺麗な海にもゴミがいっぱい?!
お魚から教わる室積の海!」
第三回「海の世界連鎖を大調査!」
講演 1件

事業結果報告

事業の目的・ねらい

山口大学教育学部附属光学園は、山と海に囲まれた自然豊かな環境に位置している。本校では、生活科や理科、図画工作科や総合的な学習の時間など、教科横断的に海洋教育を行うことができる。しかし、校内全体としては海への関心や海洋環境問題についての意識が高くなく、サイエンスクラブの児童らが作成し実施した2019年度の校内アンケートによると、海に親しみを感じている児童は校内児童の約6割と少ないことがわかった。(赤星ら、2020)

そこで、児童らに様々な体験活動を通して、海の豊かな自然やその素晴らしさを感じてもらいイベントを行い、回数を経るごとに、身近な海の海洋環境問題について親子で考えることができるプログラム「親子うみ教室」を仕組むこととした。また、小中一貫校の特色を生かし、中学生にも参加してもらおうことで、小中学生が共に身近な海に親しむことができると考えた。身近な海を知り、海を守ろうとする児童生徒が育ってほしいと考え、本プログラムを企画した。

事業の概要

- 第一回 学校のグラウンドに直結している御手洗湾にて海洋生物を親子で探し、室積の自然に親しむ。地地で獲れる魚や、漁法、魚の捌き方など地元の漁師に習う。また室積の海の環境について、今と昔を比較した話を漁師から聞く。
- 第二回 第一回で学んだ身近な環境問題に着目し、御手洗湾の砂浜にもマイクロプラスチックが混ざっているか調査する。また、魚の胃内容物を顕微鏡で観察し、どのようなものを食べているか調査する。
- 第三回 第二回の観察時に、胃内容物から小さな海洋生物を見つけたことから、食物連鎖について学ぶ。また、地元の漁師に第二回より大きな魚を捌いてもらい、胃の内容物を調べる。さらに、山口大学や山口県立大学生を率いて環境保全活動をしておられる中野智昭先生の講演を聞き、実際に大学生らとオンラインで繋がり山口県の日本海側の海岸の様子や海外での取り組みについて学ぶ。
- (企画では、各回で魚を調理し試食する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止対策のため実施を見送った。)

成果・効果

有志の教員とともに、光学園在籍児童生徒の保護者でもあるおやじの会の方々に協力いただき、計三回の「親子うみ教室」を企画した。光学園の小学校第一学年から中学校第三学年を対象に参加者を募集したところ、予想を大きく上回る100名以上の申し込みがあった。そのため、イベント内容を鑑み、小学校第一、二学年は「親子うみ遊び」という別のイベントに参加してもらうこととした。「親子うみ遊び」の参加者ら(32名)とともに、水中のぞきメガネを作り、御手洗湾で海洋生物を探したり、ライフジャケットで浮いたりして、身近な海に親しんだ。保護者(15名)の事後アンケート(1週間の調査期間、記名で実施。)によると、企画内容に「満足」と答えた割合が約93%であった。記述欄には、「普段できない貴重な体験ができた」「親子で海で遊んだことがなかったが、よい経験となった」「ライフジャケットを用意していただけたため、安心して遊ばせることができた」「実際に触れることの珍しい生き物に触れ、大人も楽しめた」などという理由を書いていた。

また、「親子うみ教室」においても、全ての回で参加者ら(第一回児童生徒16名、保護者14名。第二回児童生徒17名、保護者17名。第三回児童生徒19名、保護者19名。)に事後アンケート(1週間の調査期間、記名で実施。)を行った。第一回実施後に、とても学びになったと答えた児童生徒は約44%であった。しかし、第二回実施後には約71%となり、肯定的な回答の大幅な増加が見られた。さらに、第三回実施後には約84%となり、イベントの回数を経るごとに肯定的な回答の割合が多くなった。これらは、様々な体験活動を経験し、より多くの視点から海について考えることができるようになっていったためと考える。児童生徒は、これまでと異なり、自主的・意欲的に海洋教育に携わっていくことができるようになった。保護者の記述欄(子どもの言葉や行動でこれまでと変わったことや、新たな見方が働いていると感じたことについて。)においても、「生き物について、知ってる！から調べてみよう！に変わってきた」「ニュースや新聞などで、環境問題について家族で話すようになった」などという記述や、「魚が一番好きな食べ物と言うようになった」「自分で魚を捌いて食べたいと言うようになった」「漁業に興味をもち始めた」など普段の食生活への影響や将来の選択肢の広がりに関する記述も見られた。その他にも、イベントの継続を願う記述が多く見られた。

また、令和2年度中国地区国立大学附属学校連盟・中国地区国立大学附属学校PTA連合会岡山大会(オンライン)において、本校PTA会長が本取組について紹介したところ、各県の参加者から多くの賛同をいただくことができた。

写真、図



図1 御手洗湾にて生物探しをする参加者



図2 地元の漁師との交流



図3 大学生とのオンラインでの交流

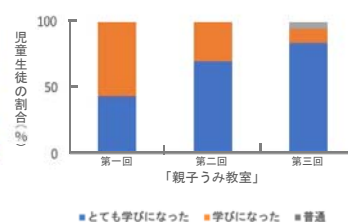
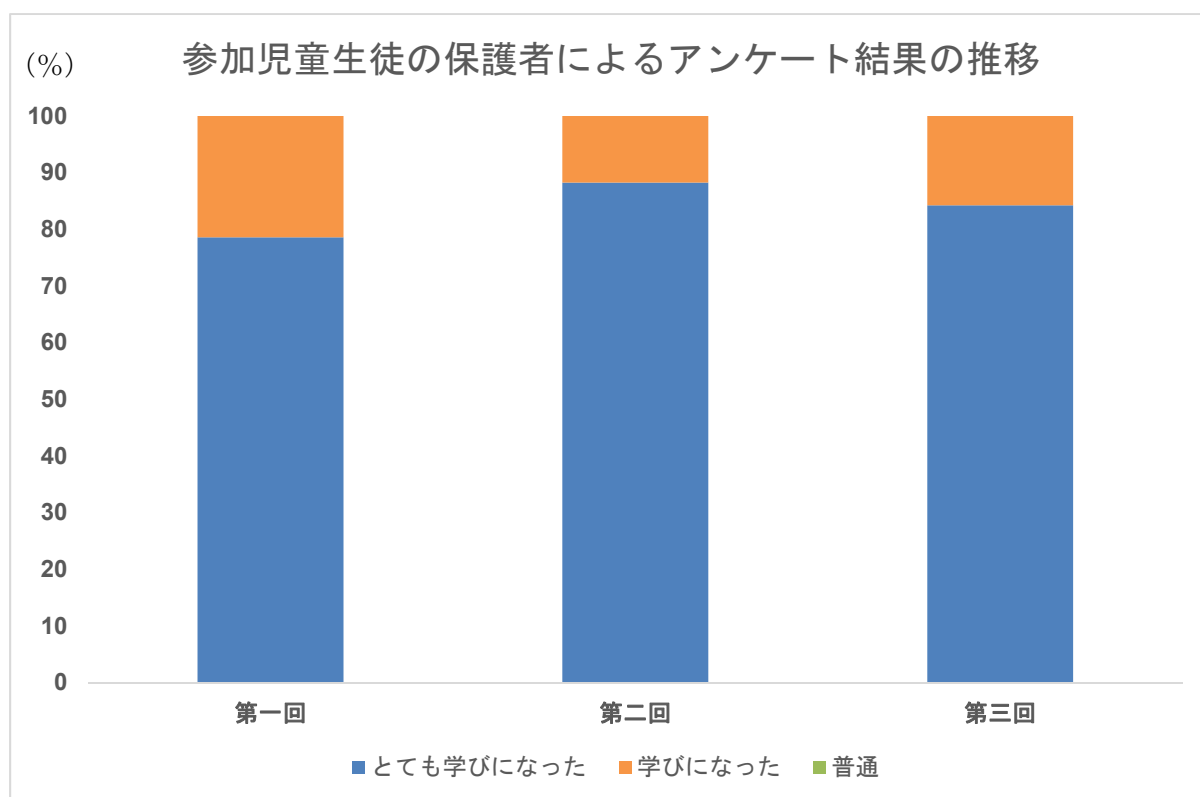
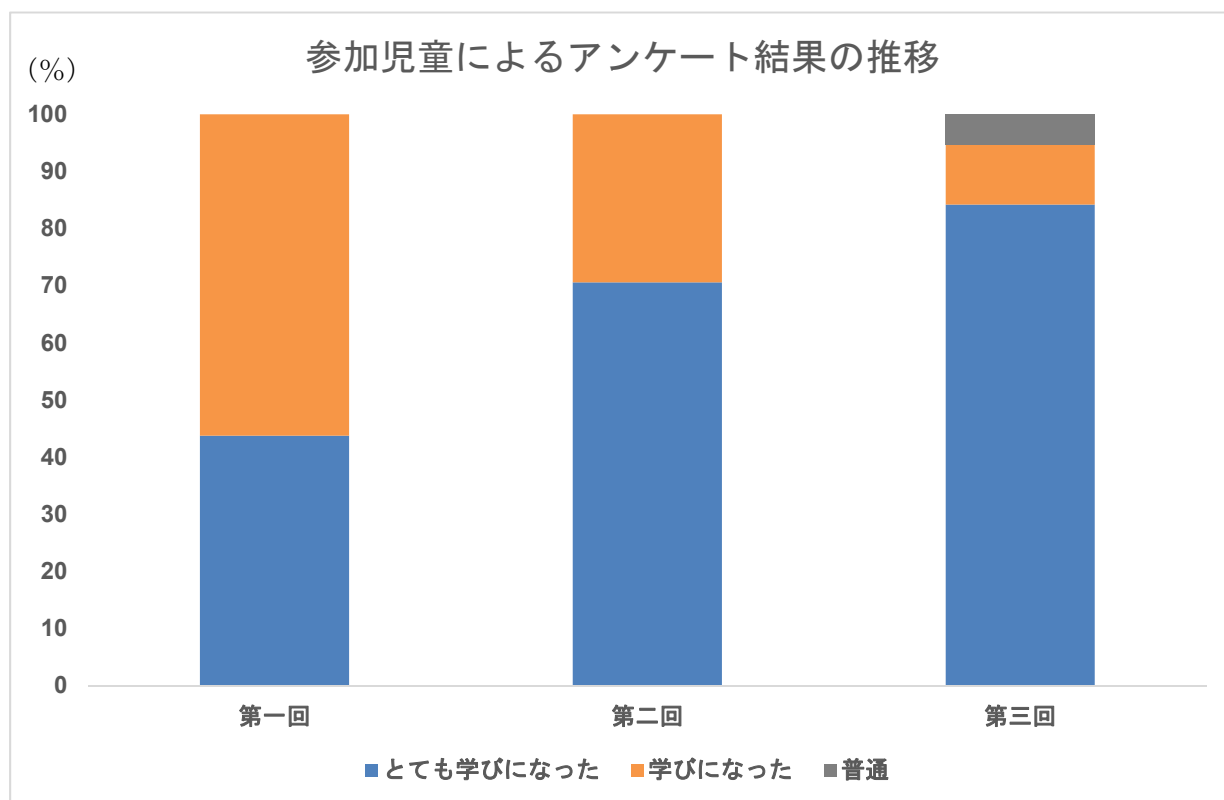


図4 児童生徒によるアンケート結果の推移



以下は、大判用紙に活動報告を書き、理科室前に掲示していたものです。ご参考までにお送りいたします。

8/29(土) 親子うみ遊び 午後は... がありました!!



うみ教育に意義してくれていた1~2年生たち



ペットボトルで
水中スコップを



何がみつかるかな...?



たくさんの
見やゴカイの
おうちも 見つけ
ました!!

海の生き物
クハイス!!



一年生も、海によく来てくれている子たちが バンバン
答えていました...! すばらしい!!



作りました!!
も生
お家で代わってあげよう!!



よく見える!!
おもしろい!!



こちらでも...
まずは 浮く練習!!



!!!
気持ち!!

上手に浮いています!!



みんなで手に乗せて
さわってみました!!

大きなムラサキウニ!!



ゴカイの赤い
もいました!!



私も上手に浮けたよ!!

きれいな
青色です!!



こわごわ... でも びっくり! 動いてる!



大きなお魚も
発見!!



海に 普段は入ることが出来ない御手洗湾で たくさんの経験ができました!

9/9(土) 親子み教室② がありました!!

今回も光の漁師さんに たくさん
御協力頂きました!



御手洗湾の
砂中に
マイクロプラ
スチク



マイクロプラスチック
は5mm以下の
プラスチックの破片のこと

がないか探しました。



ふるいにかけ
分別して
いきます。



顕微鏡操作は
お手のもの!

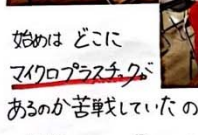


砂の中には プラスチック
の破片や マイクロプラスチック が
いくつも ありました。

人工物が マイクロプラが... 肉眼で

区別がつかないときは

顕微鏡で観察しました。



始めは どこに
マイクロプラスチックが
あるのか 苦戦していたのですが...
時間とともに 見つける 目が
育てました。



次回
で最終回!!
10月17日(月)



ハモ!!! フサ!!!
カサゴに タコ!!!
子どもたちの目が今も おおき
き!!



砂中
には あったけれど...
魚の胃には
マイクロプラスチックが
ないのだろうか...?
バ 配 ぞ っ ぽ



調べていくと... プラスチックは 室積のお魚も



たうの 胃の中は
なく、まだ
私たちの手で
海や川の生 物
を 救える ことが
分りました。



胃や腸の中から
小魚が
見つかりました!!
すばらしい!!

10/17(土) 親子うみ教室③ 最終回!! がありました!!

今回のテーマは **日本海側の海洋ご事情**
食物連鎖

特別講師として
山生先生と奥先生を幸い
環境保全活動をしてもらって
中野 智昭先生に来ていただきました。

昨年度
長門大学が撮った写真

オンラインで
大学生に質問も
たくさんしました!!

とても大きな
コショウダイ

なんと一回は **くぐり泳ぎ**!!!

大コショウダイ...!!
何を食べているのかな?
胃の中に何が入っている
かな...?

日本海側に海外からのゴミが
たくさん!!! ビックリ...!!!

最後には...

小学校の1名
中学校の1名
漁師さんに
お礼の言葉を
述べました。

前半に行った
食物連鎖ゲームを
思い出してみると...

胃の中からなんと消化残骸の
エビが
見つかりました!!!

番外編

家では...
漁師さんにいただいたお魚を各家庭で
調理していただきました。

だいたい上手です

家では...

ハモの骨切り
まで!!
すごー!!!

お魚
おかし...

すい!!! 漁師さんがとても
上手に捌いてくださいました!!

10/25(日)に 大学生らと 海岸清掃をしました。

親子うみ教室③の時に 小中学生からたくさん質問と調査依頼を受け
たため、大学生も全カで取り組まれました!!

たくさんのゴミを分別してあげています

通の大越の浜
とてもきれい♡
...でも、ゴミは...?

ムラサキワニの
殻もありました

おれとって
日本産のゴミ
9割にとxx

大学生が
ゴミ問題は **世界規模**
協力して **必要**の
ことを体験
談話から
発表してくだ
さりました

2台トラック2台
+
軽トラ2台
の量になりました

ひえええええ

海外産も
9割にxx

地球のちやうど
うなずきながら
ゴミをばらま
いていました。

ポリタックも海外から
たくさん流れついて
いました...

お礼状か
PrAも張
り
あり
ごめい
は!!